

第55期 報告書

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日

HEPHAIST®

それは価値を創造する個性ある集団です。



第56期経営方針

『Action Thinking Teamwork』

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当社第55期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、政府による成長戦略に基づく経済政策を背景に、企業収益の向上や雇用情勢が改善するなど、総じて緩やかな回復基調にあります。中国をはじめとする新興国経済の減速、英国のEU離脱問題や米国大統領選挙の影響等により為替相場が大きく変動するなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、「breakthrough 有効性の検証」を方針に掲げ、顧客への提案型営業に努め、顧客ニーズに応える応用製品の開発及び販売を促進することにより収益基盤を強化するとともに、引き続き、生産性の向上・原価低減等に努め、収益力の向上にも取り組んで参りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、2,201,201千円（前連結会計年度比35.2%増）、経常利益は133,846千円（前連結会計年度比140.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は84,233千円（前連結会計年度比157.5%増）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、産業用機械業界及び民生向けに販売を進め、当連結会計年度の売上高は1,218,028千円と前連結会計年度と比べ164,286千円の増加（前連結会計年度比15.6%増）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品の売上が好調に推移していることから、売上高は725,569千円と前連結会計年度と比べ272,122千円の増加（前連結会計年度比60.0%増）となりました。

ユニット製品につきましては、液晶製造装置等の産業用製造装置向けの販売が増加したことから、売上高は257,603千円と前連結会計年度と比べ136,435千円の増加（前連結会計年度比112.6%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、日本経済は引き続き、企業業績の回復、雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかに回復すると期待されます。世界経済では、中国はインフラ投資拡大等により底堅く推移するものと予想されますが、米国での新政権による経済政策の動向、欧州での英国のEU離脱交渉やフランス、ドイツ等の選挙とその後の政治動向の不確実性など、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは「Action Thinking Teamwork」を経営方針に掲げ、従業員の上昇志向と能力の向上で組織力の強化を図ってまいります。次期の連結業績見通しにつきましては、売上高2,039百万円（前期比7.4%減）、営業利益155百万円（前期比6.8%増）、経常利益151百万円（前期比13.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益87百万円（前期比3.9%増）を見込んでおります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

当社グループは、このような事業環境の中で、受注確保を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、収益の向上及び経営基盤の強化に努めて参ります。

重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウンによる採算性向上
- ② QCDの徹底追求による顧客対応力の強化
- ③ 顧客ニーズに適合した応用製品の開発と販売
- ④ 主力製品リニアボールブッシュの競争力強化による拡販
- ⑤ 提案型技術営業による新規顧客開拓
- ⑥ 海外販売展開の構築・強化
- ⑦ 従業員の上昇志向と能力の向上

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

この方針のもと、第55期の配当につきましては、1株当たり2円の配当を実施させていただくこととなりました。

第56期の配当金につきましては、1株当たり年間2円を実施する予定です。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月

TOPICS

55周年 埼玉・秋田
合同社員旅行

55周年の創立記念日7月19日を含む7月18日から一泊二日で埼玉工場と秋田工場合同で仙台にて社員旅行を実施し、震災後、東北復興5年目を肌に感じながら、社員の一体感が増しました。



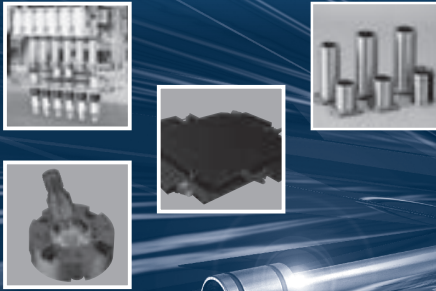
環境への取組成果

樹脂フランジ一体成型によるフランジ付リニアボールブッシュ(JFK-)、ローコスト・リニアボールブッシュ(UTB)の開発により軽量化タイプの製品を発売しました。これにより動力の省力化による環境への配慮が図られました。また、設備面でも工場内の照明をLED化すると共にデマンド監視装置の本格稼働によりピーク時の電力削減活動をプロジェクトとして運用開始しました。これにより環境への配慮だけではなくコスト削減にも繋がっています。



事業概要

当社は、1962年（昭和37年）の設立以来、リニアボールブッシュの専門メーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべき技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアボールブッシュなどの直動機器、精密部品加工及びポジショニングステージなどのユニット製品の3つの事業領域を中心に新たな分野へ挑戦し、企業価値の拡大を目指して参ります。



直動機器

円筒直動軸受製品
直動軸受応用製品
及びモジュール
球面軸受等

精密部品加工

レース用部品加工
精密部品加工
受託開発等

ユニット製品

XYθステージ
Zチルトステージ
XYθZステージ
多軸ステージ
その他システム製品

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	55期	54期 (ご参考)
	平成29年3月31日	平成28年3月31日
資産の部		
流動資産	2,523,489	2,109,445
固定資産	2,012,323	1,984,373
有形固定資産	1,894,201	1,880,364
無形固定資産	11,257	11,446
投資その他の資産	106,865	92,562
資産合計	4,535,813	4,093,818
負債の部		
流動負債	849,257	588,939
固定負債	580,059	474,711
負債合計	1,429,316	1,063,650
純資産の部		
株主資本	3,098,031	3,020,261
その他の包括利益累計額	8,464	9,906
純資産合計	3,106,496	3,030,167
負債純資産合計	4,535,813	4,093,818

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	55期	54期 (ご参考)
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
売上高	2,201,201	1,628,357
売上原価	1,600,480	1,151,358
売上総利益	600,721	476,999
販売費及び一般管理費	454,958	409,913
営業利益	145,763	67,085
営業外収益	2,082	8,459
営業外費用	13,998	19,767
経常利益	133,846	55,777
特別利益	2,999	134
特別損失	24,528	445
税金等調整前当期純利益	112,318	55,466
法人税、住民税及び事業税	32,565	27,918
法人税等調整額	△ 4,479	△ 5,158
親会社株主に帰属する当期純利益	84,233	32,705

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	55期	54期 (ご参考)
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	305,692	182,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 133,633	△ 68,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,344	△ 179,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 788	△ 1,047
現金及び現金同等物の増減額	205,615	△ 66,859
現金及び現金同等物の期首残高	744,952	811,812
現金及び現金同等物の期末残高	950,567	744,952

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

55期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	株主資本				株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	717,495	664,455	1,638,778	△ 467	3,020,261
当期変動額					
剰余金の配当			△ 6,242		△ 6,242
親会社株主に 帰属する当期純利益			84,233		84,233
自己株式の取得				△ 220	△ 220
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	77,990	△ 220	77,770
当期末残高	717,495	664,455	1,716,769	△ 687	3,098,031
	その他の包括利益累計額				
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		純資産合計
当期首残高	△ 160	10,067	9,906		3,030,167
当期変動額					
剰余金の配当					△ 6,242
親会社株主に 帰属する当期純利益					84,233
自己株式の取得					△ 220
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	1,375	△ 2,817	△ 1,441		△ 1,441
当期変動額合計	1,375	△ 2,817	△ 1,441		76,328
当期末残高	1,214	7,250	8,464		3,106,496

連結貸借対照表のポイント

資産の部

売上債権は前期と比べ324,254千円増加し、また、たな卸資産が102,879千円減少しました。設備投資の総額は139,548千円となりました。

負債の部

仕入債務は前期と比べ260,469千円増加し、また、借入金が59,260千円増加しました。

純資産の部

利益剰余金は前期と比べ77,990千円増加しました。

連結損益計算書のポイント

販売費及び一般管理費の研究開発費は43,873千円となりました。

営業外費用に為替差損7,890千円を計上しました。

特別損失に固定資産除去損24,528千円を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

① 税金等調整前当期純利益の増加に加え、たな卸資産の減少により資金が増加しています。

② 固定資産の取得により資金が減少しています。

③ 借入金の増加により資金が増加しています。

連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産の増加は、利益剰余金の増加によるものです。

株式の状況

株式の状況 (2017年3月31日現在)

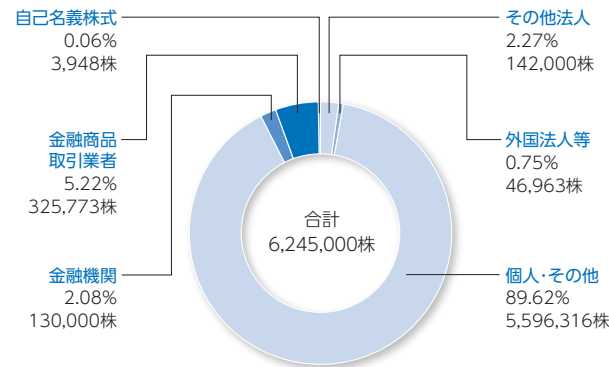
会社が発行する株式の総数	18,720,000株
発行済株式の総数	6,245,000株

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
尾崎 浩太	1,123	17.98
尾崎 文彦	1,021	16.34
尾崎 久壽彌	694	11.12
日本証券金融株式会社	130	2.08
時津 昭彦	84	1.34
株式会社SBI証券	81	1.29
金井 俊和	77	1.23
高水 永夫	76	1.21
松田 健太郎	65	1.04
楽天証券株式会社	65	1.04

持株比率は自己株式(3,948株)を控除せずに計算しております。

所有者別株式数 (2017年3月31日現在)



第55期定時株主総会に関するご報告

平成29年6月28日開催の第55期定時株主総会における報告内容及び決議内容は、下記の通りです。

記

報告事項

第55期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決されました。
期末配当金は、1株につき2円となります。

第2号議案 取締役1名選任の件

本件は、原案どおり、取締役として菜花有三氏が選任され、就任いたしました。

第3号議案 役員賞与支給の件

本件は、原案どおり、取締役3名及び監査役に対しそれぞれの引当金の範囲内で役員賞与合計総額10,000,000円を支給することに承認可決されました。

第55期期末配当金のお支払いについて

本総会の決議により、第55期期末配当金は1株につき2円と決定いたしました。

1. 口座振込をご指定いただいている株主様は、同封の「第55期期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。

株式数比例配分方式を選択されている株主様の配当金のお振込先につきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

2. 口座振込をご指定いただいていない株主様は、同封の「第55期期末配当金領収証」により、払渡期間中(平成29年6月29日～平成29年7月29日)に最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で配当金をお受け取りください。

会社の概要

会社の概要 (2017年3月31日現在)

社名 …… ヒーハイト精工株式会社

本社 …… 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 …… 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積6,590㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 …… 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山山下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-1192

海外 …… 赫菲(上海)軸承商貿有限公司(中華人民共和国)

設立 …… 1962年(昭和37年)7月19日

資本金 …… 717,495,000円

従業員 …… 90人(28)
(外、平均臨時雇用者数)

役員 (2017年6月28日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	福留 弘人
取締役	菜花 有三
取締役(社外)	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役(社外)	上條 弘
監査役(社外)	菅野 浩正

執行役員 佐々木 宏行

株主メモ

単元株式数の変更についてのご案内
当社は2017年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

事業年度 …… 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 …… 毎年6月

期末配当金受領株主確定日 …… 3月31日(中間配当を行う場合、毎年9月30日)

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 …… 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 …… 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 …… 0120-232-711 (フリーダイヤル)

上場金融証券取引所 …… 東京証券取引所(JASDAQスタンダード市場)

証券コード …… 6433

単元株式数 …… 1,000株(10月1日より100株)

公告の方法 …… 電子公告の方法により行う。

公告掲載URL …… <http://www.hephaist.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式のお手続きに関するお問い合わせ】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター
(東京)フリーダイヤル 0120-232-711
(大阪)フリーダイヤル 0120-094-777
受付時間:土・日・祝祭日を除く 平日9:00~17:00

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

*本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることに留意ください。

以上